

# 第1回防災教育推進委員会

日 時：平成20年7月16日（水）

16:00～17:30

場 所：兵庫県災害対策センター

## 【次 第】

1. 事務局説明 : 事業実施体制、委員会運営、平成20年度事業概要
2. 各機関からの説明 : 各機関の事業の進め方、平成20年度の連携の進め方
3. 意見交換 : 事業・連携の進め方

## 【出席予定者】（敬称略、○：防災教育推進委員会委員）

- |                           |         |        |
|---------------------------|---------|--------|
| ○ 気象庁神戸海洋気象台業務課           | 課長      | 根本 和宏  |
| ○ 兵庫県教育委員会事務局教育企画課        | 課長      | 三木 忠一  |
| 兵庫県教育委員会事務局教育企画課          | 指導主事    | 三浦 巡   |
| ○ 兵庫県企画県民部防災企画局防災企画課      | 課長      | 上り口 豊  |
| 兵庫県企画県民部防災企画局防災企画課        | 課長補佐    | 平澤 雄一郎 |
| ○ 神戸市教育委員会事務局指導部指導課       | 課長      | 林 弘伸   |
| 神戸市教育委員会事務局指導部指導課         | 指導主事    | 田尾 みづほ |
| 神戸市教育委員会事務局指導部指導課         | 指導主事    | 宮本 晃郎  |
| 神戸市教育委員会事務局総務部調査課         | 主幹      | 松崎 太亮  |
| 神戸市立小部東小学校                | 校長      | 平山 直樹  |
| ○ 神戸市危機管理室                | 主幹      | 小久保 康晴 |
| ○ 神戸市消防局予防部予防課            | 課長      | 濱田 諭   |
| 神戸市消防局予防部予防課              | 係長      | 定岡 由典  |
| 神戸市消防局予防部予防課              |         | 竹中 邦明  |
| 神戸学院大学学際教育機構防災・社会貢献ユニット   | ユニット長   | 前林 清和  |
| ○ 神戸学院大学学際教育機構防災・社会貢献ユニット | 専任講師    | 舩木 伸江  |
| 兵庫県立舞子高等学校                | 校長      | 新居 寛   |
| 兵庫県立舞子高等学校                | 教諭      | 福重 清数  |
| ○ 兵庫県立舞子高等学校環境防災科         | 科長・教諭   | 諏訪 清二  |
| ○ 人と防災未来センター              | 副センター長  | 山本 健一  |
| 人と防災未来センター事業部             | 部長      | 田村 賢一  |
| 人と防災未来センター事業部             | 主幹兼事業課長 | 村田 昌彦  |
| 人と防災未来センター事業部             | 事業課課長補佐 | 野竿 拓哉  |
| 人と防災未来センター研究部             | 研究員     | 宇田川 真之 |

※事務局：人と防災未来センター

## 【参 考】

### ■文部科学省研究開発局長通知（20.6.16） - 抄 -

業務の実施に当たっては、…（略）…、審査において出された下記の意見を反映するよう配慮願います。

（提案書に対する意見）

- ・継続的な活動の基盤となるよう、事業実施の間に防災教育開発機構の体制を整えること。
- ・震災を直接経験していない子供たちにも体験を語り継ぐ方法の確立を図ること。
- ・これまでの防災教育の成果を再整理し、現場での活動に使いやすい教材等の開発につなげる  
こと。
- ・兵庫県は大震災の経験や教訓等の多くの有形無形の知見や成果等を有することから、それらを防災教育に利用しやすいように体系化を図ること。その際に、科学的知見を活用すること。

### ■文部科学省「防災教育支援モデル地域事業」公募要領（H20年3月） - 抄 -

「委員会は、モデル事業に必要な個別テーマの実施のための企画立案を行い、別に参画を依頼する事業協力機関の協力を得て事業を推進する」

※当地域の事業における「事業協力機関」とは、委員会の9委員が所属する9機関。

「平成20年11月：平成20年度中間報告会（有識者による評価）※企画提案書上、同月に推進委員会。

開催時期任意：平成20年度地域報告会（各地域において実施）※企画提案書上は平成21年2月開催。

平成21年2月：平成20年度最終報告会（有識者による評価）※企画提案書上、翌月に推進委員会。」

### ■事業実施体制（敬称略）

・事業代表者 人と防災未来センター副センター長 山本 健一

・個別テーマ責任者

①防災科学技術教育関連教材等の作成

神戸学院大学学際教育機構防災・社会貢献ユニット専任講師 船木 伸江

②学校の教職員等を対象とした研修プログラムの開発・実施

兵庫県教育委員会事務局教育企画課長 三木 忠一

③実践的な防災教育プログラム等の開発・実施

神戸市教育委員会事務局指導部指導課長 林 弘伸

④その他、地域の実情に応じた先進的な取組の実施

兵庫県立舞子高等学校環境防災科長・教諭 諏訪 清二

#### 4. 当該年度における成果の目標及び業務の方法

##### ①防災科学技術教育関連教材等の作成

「防災教育開発機構」により、地震を中心に水害等の他の事例も含めた自然災害に関する全国の防災教育教材について、既に同機構が所有しているものや同機構の有するネットワークにより他地域から新たに収集するものを情報整理・分類する。その成果をもとに、防災科学技術を活用して新たな教材等を試行的に開発する。具体的には、問題を解くワークシート形式教材、イラストが豊富なカード形式教材、GIS ソフトを活用した教材等を試行的に開発する。GIS ソフト活用教材等の検討にあたり、補助者を用いる。

##### ②学校の教職員等を対象とした研修プログラムの開発・実施

兵庫県において従来から実施している防災教育推進指導員養成講座、EARTH 訓練・研修会等について、その検証・評価を関係者による委員会（研修プログラム編集委員会）の開催等により行い、全国的に行える教職員対象の新たな研修プログラム開発の検討を行う。

また、神戸市内においては、学校の防災担当者による研修会や、神戸市消防局の協力による取組を充実させるとともに、神戸市内の9区ごとに設けるモデル小学校で、新たな研修プログラム開発に向けたモデル的实践を行う。

##### ③実践的な防災教育プログラム等の開発・実施

個別テーマ②と併せ、防災教育プログラム開発の観点からも、防災教育推進指導員養成講座、EARTH 訓練・研修会等における検討を関係者による委員会（防災教育プログラム編集委員会）の開催等により行うとともに、神戸市内における9の小学校でモデル的实践を行う。

これらから、「命、思いやり、助け合い」の大切さを一層伝えることができるようなプログラムの開発を目指す。

また、若手研究者が高校生に教え、その成果を高校生が地域の子供たちに教える、という教育実践を通じた若者と子ども達をつなぐ実験（はばタン防災教室）を、人と防災未来センター内で3回行う。

##### ④その他、地域の実情に応じた先進的な取り組みの実施

個別テーマ①と併せ、兵庫県内の教材の整理・分析を行う。また、大震災時に子供だった若者たちに、自分の経験や得た教訓を次世代に残すことを目的に聴衆の前で語ってもらい（次世代語り部）、その映像を人と防災未来センター内で放映するとともに成果をDVD教材化する。これにより、語り部自身が育成されるとともに、DVD教材を県内外に広く普及させることで、大震災経験・教訓の次世代への語り継ぎが可能となる。

さらに、事業全体に関する地域報告会の開催や成果報告書・活動記録の普及等を通じて、防災教育開発機構構成機関を中心に、大震災被災地域内の防災教育関係機関による活動の連携を深め、ネットワークを確立する。特に、成果報告書については、教材や研修・教育プログラムの開発に関する取組内容を盛り込むことで、兵庫県内小・中・高校等や県内外の防災教育関係機関にも役立つとともに、それら機関とのネットワーク形成に資するものを作成する。

# 防災教育支援モデル地域事業における 人と防災未来センターの役割

## 1. ネットワークの確立（平成 20 年度主担当：人と防災未来センター）

### ○防災教育開発機構 HP の開設

- ・人と防災未来センターHP内に開設。順次、内容充実。

### ○地域報告会事務局、成果報告書取りまとめ

- ・平成 21 年 2 月頃に地域報告会開催。

## 2. 若者語り部活動の教材化（平成 20 年度主担当：人と防災未来センター）

### ○次世代語り部活動の実施

- ・「ユース震災語り部」として 27 名参加。7 月 6 日・13 日収録。8 月 9 日シンポジウム。秋に防災未来館で上映、DVD教材化(1,000 枚作成)。

## 3. 若者・子供達をつなぐ実験（平成 20 年度主担当：舞子高校）

### ○はばタン防災教室の実施

- ・舞子高校生が小学生に授業（7月20日、8月16日、9月7日。いずれも土曜日、午後2～3時）。授業に先立ち、7月9日に人と防災未来センター研究員から舞子高校生に講義。

## 4. 科学技術成果を活用した教材等の作成（平成 20 年度主担当：神戸学院大学）

### ○3次元ハザードマップの作成

- ・高校生等が野外での学習成果を基に無料GISを用いた地域解析を行い、3次元ハザードマップをインターネット配信するまでの教材等の開発に向け、舞子高校と相談中。